

2026年3月24日

お取引先様各位



中東情勢に伴う弊社製品への影響について

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、連日の報道等にございます通り、現在、中東情勢の変化に伴いホルムズ海峡の通航への影響が懸念されております。

国内外問わず化学産業におきましては、原料となるナフサの多くを中東地域に依存している背景もあり、弊社製品に使用する原材料および副資材への影響が注視される状況にございます。つきましては、現時点での供給見通しについて下記の通りご報告申し上げます。

敬具

記

1. 原材料の供給状況について

現時点において、弊社製品の原材料・副資材が調達不能となる事態は発生しておりません。

弊社ではBCP(事業継続計画)に基づき、調達ルートの多角化など対策を講じております。

しかしながら、仕入先各社からは供給制限や納期調整の可能性が示唆されております。

そのため、誠に恐縮ながら「先取り注文」や「前年実績を大幅に上回るご注文」につきましては、別途供給数量を相談させていただく場合がございます。

2. 価格の見通しについて

現在、世界的なエネルギー供給リスクの高まりを受け、原油およびナフサ価格が高騰しております。これに伴い、国内外の原材料メーカーより大幅な価格改定(値上げ)の打診が相次いでおります。

物流費の増大も重なり、弊社といたしましても自助努力のみでコスト上昇を吸収することが極めて困難な状況にございます。今後の情勢次第では、製品価格の改定をお願いせざるを得ない可能性がございます。

3. 今後の見通しについて

ホルムズ海峡の封鎖解除に関する見通しは立っておらず、先行きは極めて不透明です。本件は日本国内に留まらず世界規模の課題であり、弊社といたしましても引き続き情報の収集と安定供給に全力を尽くしてまいり所存です。

今後の状況変化につきましては、進展があり次第、速やかにご案内申し上げます。諸般の事情をご賢察いただき、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上